

「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」 長崎でのスタート集会 長崎被爆者5団体の呼びかけで開催。

「新しい核兵器廃絶国際署名」スタート集会、5月27日(金)
平和公園祈念像前で開催。(10:30~11:30)

開会には「人類は今、破滅の道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。」で始まる署名の訴えを読み上げ、「あなたの署名が核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと思います。」と賛同を呼びかけました。

被災協事務局次長の柿田さんは、4月に発表した署名が被爆者5団体が呼びかけて取り組むこととなり、長崎生協連、原水禁、原水協、被災協で事務局を構成し署名推進にあたり、その中で長崎の発表集会をオバマ米大統領が被爆地広島を訪れる27日に開催し、オバマ氏にも世界にも被爆地長崎の思いをアピールしようとなったことを報告しました。

この集会に寄せられた長崎市長田上富久氏メッセージは日本生協連の上田さんが読み上げ、「核兵器のもたらす危険性は、決して被爆地だけの過去の問題ではなく、世界が抱える今と未来の問題です。」「被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名を通して」核兵器廃絶への機運を高めると市長の共同の決意が表明されました。

被爆5団体はそれぞれオバマ大統領の広島訪問について発言しました。長い間お願いしてきた訪問がかなってうれしいが広島だけとは少しさびしい、谷口さんは病気で行けなかったが長崎の被爆者の声も聴いてほしい。若い人や議員の声も聴くのも未来志向でいいと思うが被爆の原点は被爆者だ。もっと被爆者の声を聴いてほしい。オバマさんを何としても核兵器廃絶へ引き込みたい、生存のため核兵器廃絶を共有したいと病院から駆け付けたという発言、オバマ大統領の広島への一歩を核兵器廃絶実現へつなげたいとの思いが参加者に伝わるものでした。



核兵器のない平和で公正な世界を 原水爆禁止長崎県協議会
Gensuikyō news 〒850-0035 長崎市元船町5-11-402
2016/06/03 TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102

またオバマ大統領の言葉だけに頼るのではなく最後の力を振りしぼって「新しい署名」運動の成功のために力を発揮すると決意表明もありました。事務局団体からは、昨年のNPTへ向けての署名、ニューヨーク行動の中で核兵器廃絶を求める世界の流れに勇気もらった。今回の署名、被爆地長崎の思いをこめて運動したい。戦争法を強行成立させた安倍政権、職場やくらしの中の民主化運動と同時に「新しい署名」ともにがんばろう。

被爆者からの今回の署名の呼びかけに感謝し、それに応えて頑張ることを誓うと同時に、原爆で亡くなられた方の語りかけてくるものに応えることが大事だ。絶対悪の核兵器がなぜ使われたのか。一刻も早く地球上からなくすべき。オバマ大統領「核兵器廃絶へ勇気ある一歩を」踏み出してほしい。被爆国であり、9条を持つ国として先頭に立ち頑張ろう。等決意が語られました。

最後に学童保育の若い指導員は、昨年被爆者と共に半年間学び「僕たち私たちの平和宣言」を作る中で、被爆者の思いを知った。その思いを受け継ぐことになると、「新しい署名」の大事さが語られました。

リレートーク後、署名行動し、234筆の署名が寄せられました、うち120筆が海外(13カ国)人0人の署名でした。寄付も寄せられ、被爆者や事務局団体からの集会参加は約70名、テレビ、新聞の取材も多く「新しい国際署名」の意気高いスタート集会になりました。



2016年 原水爆禁止 国民平和大行進 長崎出発集会

韓国の青年2人が長崎から 国際青年ルー行進に参加します

6月28日(火)
平和公園祈念像前
13時から出発集会を開催しますの
で、皆さんご参加下さい。

キム・ジョングンさん

イ・ジミンさん

五十嵐成臣さん

竹田昭彦さん

